

平成28年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市藤が丘地区センター(横浜市青葉区藤が丘1-14-95)
対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
指定管理者	特定非営利活動法人建物管理ネットワーク(横浜市中区蓬萊町2-4-1)
実施日	平成29年1月31日
点検方法	この業務点検は、別紙の業務点検結果シートの点検項目及び点検内容に基づき、指定管理者から提出された報告書類の内容審査及び実地でのヒアリングにより実施した。
講評	当施設での経理事務、利用者への接遇(苦情・要望対応)等は適切に行われ、施設内も整理整頓がなされており、施設の管理運営は概ね適正と認められる。
指摘事項	備品シールと備品台帳の整合がつかうように整理していく必要がある。
改善状況	整理対応中。
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	4,832,850円(達成率107%)
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区別利用数、その他利用数	入館者数136,466人(うち区内120,970、区外6,738、市外9,560)前年比96%
	稼働率	部屋別の稼働率	体育室(96%)工芸室(74.7%)が好調。全体では60.4%
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	35,854,000円執行
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	体育室の床塗装など、1,525,931円執行
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	概ね事業計画書通り実施。延12,621人参加。計画にはない地域名人講座、FP講座が人気。
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適正に管理されている。
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	事業計画書通り適正に管理されている。
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	自動ドアの修繕、誘導灯の交換など積極的に実施。
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	一部台帳と備品シールの記載内容がずれていた。
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	ご意見箱を設置し、アンケートも9月に実施するなど適切に把握している。
	巡視点検	受付窓口の状況、館内の状況等	館内3か所にチェック表を設置し、一日3回点検を実施。
年1回	運営目標の実績評価 運営に対する自己評価	事業計画作成時に設定した運営目標に対する実績目標と実績に差異が生じている場合の改善計画	体育室のメンテナンス、NPO法人との協働事業、防火管理者の資格全員取得などの目標を概ね達成。
	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	要綱等をいつでもご利用者の要望に応じて提示できるように適切に設置。
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	研修を実施し、誓約書を提出している。
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	適切に作成・運用している。
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	適切に作成・運用している。
		消防計画の作成・提出状況	作成している。(過年度より変更なし)
	保険	施設賠償責任保険への加入	加入し適切に管理している。
	研修	職員等に対する研修の実施状況	事業計画書通りに実施。
本市重要施策への 実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	中小企業への発注や、健康スタンプラリー等健康福祉政策に沿った取組を実施。	
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	7月23日に第1回開催。会長等の選出、事業報告等について。委員12人出席。 10月29日に第2回開催。半期報告、センターまつり等について。委員9人出席。 3月4日に第3回開催。第3四半期業務報告等について。委員8人出席。
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	3月21日に、抽選申し込みについてを議題として開催し、利用者16人が参加。
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	なし
	損害賠償	損害賠償の発生状況	なし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	なし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	なし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	なし
特に重要な施設の維持管理、修繕に関する こと	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	体育室の音響設備が要修繕。	
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育室の床を塗装 ・町内会との情報共有など連携の構築 ・ボランティアの活用や地元の方による草むしりなど業者委託ではなく地域とのつながりのなかで維持管理のマンパワーを確保するとともに経費削減に取り組んでいる。 		備品シールと備品台帳の整合がつかないように整理していく必要がある。